



WEEKLY BULLETIN

2024.4.16
第 2157 回例会Koga East
Rotary
District2820 

環境月間

会長 武澤郁夫 幹事 福田優子

本日の予定

 太平山 お花見ハイキング

乗用車乗合わせ

集合：やなぎや遊水亭駐車場 出発：午前9時

会長の時間

2023-24 年度会長 武澤郁夫



今日は朝ドラ主人公寅子のモデル三淵嘉子さんについてお話します。

女性法律家の先駆け、女学校のアイドルが弁護士に、結婚そして戦争、裁判官として歩んだ戦後、そして家裁の母に。

台湾銀行勤務の武藤貞雄の長女として1914年シンガポールにて生まれる。東京府青山師範学校附属小学校を経て東京女子高等師範学校附属高等女学校を卒業した際に、進歩的な考えをもつ父に影響を受け法律を学ぶことを決意し、当時女子に唯一法学の門戸を開いていた明治大学専門部女子部法科に入学した。1935年明治大学法学部に入学。1938年高等試験司法科試験に合格し、明治大学を卒業。1940年に第二東京弁護士会に弁護士登録をしたことで明治大学同窓の中田正子、久米愛と共に日本初の女性弁護士となる。1941年武藤家の書生をしていた和田芳夫と結婚するも、和田が召集先の中国で発病、1946年に帰国後長崎の陸軍病院で戦病死する。1945年に長男や戦死した弟の妻子とともに福島県坂下町へ疎開の後、両親の住む川崎市に移り住む。1947年、裁判官採用願いを司法省に提出。司法省民事局局付を経て最高裁判所発足に伴い最高裁民事局局付、家庭局創設に伴い初代の家庭局局付に就任。1949年6月28日に東京地裁判事補になる。1952年、名古屋地方裁判所で初の

女性判事となる。1956年、裁判官の三淵乾太郎(初代最高裁長官三淵忠彦の子)と再婚。三淵姓となる。

広島と長崎の被爆者が原爆の責任を訴えた「原爆裁判」を担当する(裁判長古関敏正、三淵、高桑昭)。判決は請求棄却とするも日本の裁判所で初めて「原爆投下は国際法違反」と明言した。

その後東京家庭裁判所判事。少年部で計5,000人超の少年少女の審判を担当した。新潟家庭裁判所長に任命され、初の女性家庭裁判所長となる。1979年に退官。1980年に再び弁護士となり、その後は日本婦人法律家協会の会長や労働省男女平等問題専門家会議の座長を務めた。1984年5月骨肉腫のため69歳で永眠いたしました。

自分の考えとしましては、当時は高等女学校を卒業するとお嫁に行き良妻賢母となれと言う意見が多い時代、ごくまれに職業婦人として、学校の教師、医師になる学校はありましたが、今で言う女子大でも当時は家政学部が大半でした。日本女子大でも家政学部を売りにしていました。津田塾に英文科があったぐらいです。この方のお父様が素晴らしいです。当時娘を法学部に入学させるのは新しい考えの持ち主です。その時代に女性として初めて、弁護士、判事、裁判所所長になられたのは、すごい事です。

参考資料：NHK ドラマガイド連続テレビ小説虎に翼

点鐘・ロータリーソング

S A A (会場監督)	開会の点鐘	オーディオ担当	ソングリーダー
			
古谷弘之 SAA	武澤郁夫会長	近藤利貴会員	大谷祥寛会員

🎵 それでこそロータリー、古河東ロータリークラブソング

お客様・ご来訪ロータリアンの紹介

🏠 国際ロータリー第 2770 地区パストガバナー
浦和北ロータリークラブ 渡邊和良様



🏠 国際ロータリー第 2580 地区パスト地区代表幹事
東京御苑ロータリークラブ 今井忠様



🏠 国際ロータリー第 2820 地区第 5 分区ガバナー補佐エレクト
しもだて紫水ロータリークラブ
笠倉勉様



🏠 国際ロータリー第 2820 地区
土浦南ロータリークラブ
稲本修一様



お客様紹介：山崎清司 PDG

委員会報告

🏠 親睦活動委員会 板橋孝司委員長

4月16日(火)太平山お花見ハイキング、今回は、参加者が予定より少なくなりましたので、集合場所をやなぎや遊水亭駐車場、出発9時と致します。なお、雨天中止となりますが、1時間前までに連絡致します。



🏠 IM 記念ゴルフ大会報告 杉岡榮治実行委員長

4月4日(木)猿島カントリー倶楽部に於いて IM 記念ゴルフ大会を開催致しました。参加者 49 名、商品は総務委員長の須田さんのご尽力のお陰で、素晴らしい賞品を準備することができました。優勝者は温泉旅行、準優勝者が松阪牛、他多数。また、賞品を高橋采子ガバナー補佐、武澤会長から提供頂き、豪華な賞品となりました。スコアは、私たちのクラブはおとなしかったですね。全体としては、非常に楽しいゴルフになったと思います。



第 146 回クラブゴルフ同好会コンペ

4月7日(日)皐月ゴルフ倶楽部佐野コースに於いて、ゴルフ同好会コンペを開催致しました。なんと女性が頑張りました、女性が1位2位3位を独占でした。優勝が齊藤愛会員、準優勝が三田圭子元会員、第3位が小林好子会員です。おめでとうございます。男子頑張れと活をいただきました。

委員会報告

🏠 次年度会員増強委員会 高橋采子委員長

本日午後6時30分から、「お食事処 静」に於いて、次年度会員増強委員会を開催致します。人数が少ないので、お時間のある方は、委員さん以外でもご参加頂きたいと思っております。

先ほど、IM 記念ゴルフ大会杉岡榮治実行委員長から報告がありましたとおり、IM 記念ゴルフ大会、皆様のご協力のお陰で、成功裏に終えることができました。お天気も良くゴルフ日和でした。本当にありがとうございました。



🏠 次期会長 柿沼利明会員

地区研修・協議会について

過日、大高年度三大行事の最後を締めくくる地区研修・協議会(4/14)について井上次期幹事よりお話させて頂きましたが、確認のため再度ご案内しますので参加者の方は宜しくお願ひします。

日時：4月14日(日) 集合場所：古河駅東口 バス出発時間：午前5時50分

参加者

山崎清司 PDG、佐谷道浩地区米山委員(行きは電車、帰りのみバス利用予定)、松本幸子地区国際奉仕委員、柿沼利明次期会長、井上学次期幹事(電車)、高橋采子次期会員増強委員長、福田優子次期クラブ奉仕委員長、松井実次期職業奉仕委員長、須田純一次期社会奉仕委員長、古谷由紀子次期青少年奉仕委員長、板橋孝司次期国際奉仕委員長、武澤郁夫次期ロータリー財団委員長(代理出席)、山腰すい次期米山記念奨学会委員長



🏠 出席状況報告 大橋みち子出席委員長

第 2156 回例会 (4/9)		第 2154 回例会 (3/26) 前々回	
名誉会員を除く会員数	51 名	名誉会員を除く会員数	50 名
出席計算に用いた会員数	43 名	出席計算に用いた会員数	42 名
出席またはMake Up 会員数	31 名	出席または Make Up 会員数	42 名
出席率	72.09%	出席率	100%



🏠 ご報告

4月4日(木) 大型テント寄贈
寄贈先：古河市立古河第四小学校
贈呈式：後日



スマイル報告

森敏夫スマイル委員長

お名前(敬称略)	メッセージ
渡邊和良様 浦和北 RC	山崎清司 PDG には、色々ご指導頂いております。本日は、メーキャップさせていただきます。宜しくお願ひ申し上げます。



お名前(敬称略)	メッセージ
今井忠様 東京御苑 RC	初めまして、本日は、宜しくお願いします。
笠倉勉様 しもだて紫水 RC	宜しくお願いします。
稲本修一様 土浦南 RC	今日は、お招きいただきまして、ありがとうございます。 拙い報告となりますが、感謝の思いを持って、話させていただきます。
武澤郁夫会長 福田優子幹事	お客様卓話「心臓移植について」土浦南 RC 稲本修一様、ありがとうございました。 しもだて紫水 RC 笠倉勉様、浦和北 RC 渡邊和良様、東京御苑 RC 今井忠様ようこそお出で下さいました。
高橋采子 第4分区ガバナー補佐	お足元の悪い中、皆様ようこそ！！ 稲本様、卓話宜しくお願いします。 笠倉様、渡邊様、今井様ようこそお越し下さいました。 古河東 RC の楽しい例会をお楽しみ頂ければ、幸いです。
山崎清司 PDG	稲本修一さん、卓話ご苦労様です。 笠倉勉様、渡邊和良様、今井忠様、雨中ようこそお出で下さいました。
石川久 大谷祥寛 小林好子 近藤利貴 坂田信夫	板橋孝司 大橋みち子 小森谷久美 齊藤忠 松井実 土浦南 RC より稲本修一様、遠方より卓話ありがとうございます。 また、本日は、しもだて紫水 RC 笠倉勉様、浦和北 RC 渡邊和良様、東京御苑 RC 今井忠様古河東へようこそ。 ありがとうございます。
柿沼利明	稲本様、卓話ありがとうございます。 私も、10歳の時心臓の手術をしており、大変興味深く拝聴いたします。 渡邊パストガバナー、笠原ガバナー補佐、ようこそお出で下さいました。 どうぞごゆっくりして行って下さい。 今度の日曜日は、次年度の勉強会である地区研修協議会となります。 10人衆の方々、宜しくお願いします。
桑原正信	去る4月4日(木)ロータリー第4分区 IM 記念ゴルフ大会が開催されました。 IM実行委員長の柿沼さんやIM記念ゴルフ実行委員長の杉岡さんから、ペナルティ等の資金をNPO 法人希望に寄付するので、宣伝を兼ねて受け取りに来て欲しい旨の申し入れがあり、武澤会長の車に同乗させていただいて、行ってきました。 寄付も沢山集まり(91,500円)NPO 法人希望の宣伝もでき、大変ありがとうございました。大切にに使わせていただきます。感謝
齊藤愛	ゴルフ同好会、お疲れ様でした。 メンバーに恵まれ優勝してしまいました。 稲本様、卓話宜しくお願いいたします。
杉岡榮治	先日のIM 記念ゴルフ大会では、須田純一総務委員長他会員の皆様のご協力のお陰で素晴らしい大会になったと思います。ありがとうございました。 楽しい写真を沢山撮って頂いた佐谷先生、ありがとうございました。
須田純一	IM 記念ゴルフ大会に続きクラブゴルフコンペお疲れ様でした。 齊藤愛先生、優勝おめでとございます。
中村敦	一昨日のゴルフ同好会は、とても楽しませて頂きました。仕事も、遊びも一生懸命に頑張ります。
福富好一	日曜日のゴルフ同好会は、天候に恵まれ楽しい一日でした。 桜も丁度見頃でした。

人数	合計	累計	目標額	達成率
25名	¥75,000	¥1,680,730	¥2,000,000	84.04 %

報告事項

本日の卓話
「心臓移植について(ひろは小学校4年生になりました)」
土浦南 RC 社会奉仕委員長 稲本修一様

お客様
浦和北 RC 渡邊和良様/東京御苑 RC 今井忠様/しもだて紫水 RC 笠倉務様



お客様卓話「心臓移植について (ひろは小学校4年生になりました)」

土浦南 RC 社会奉仕委員長稲本修一様

土浦南ロータリークラブの稲本でございます。本日はお招きいただきましてありがとうございます。もう早いもので孫の心臓移植から5月で7年になります。その節は古河東ロータリークラブの皆様にもご支援賜りまして誠にありがとうございました。

医療の発達によって、以前は治らなかった病気も、新しい薬が開発されて助かるケースが飛躍的に増えていますが、それでも治らない病気もたくさんあります。

IPS細胞の技術が飛躍的に進めば、自分の臓器を作り出すことができるのかも知れませんがまだまだ先の話のようです。

臓器移植は、薬ではなく、誰かの臓器を移植することによって、絶望的だったその人を希望のある人生へと導いてくれる医療です。

しかし、残念ながら日本では、この分野は非常に遅れています。日本で臓器移植法が施行されてから25年になりますが、ドナーの数がようやく年間100例になったといわれていますが、心臓移植が必要な患者は年間500～1,500人といわれています。心臓移植はどちらかといえば緊急を要するものです。国内での移植のみを希望すれば、待っている間に命を落とす、そういうケースが多いのが現実なの

です。日本以外の国は全て自国内で移植がなされています。

一方アメリカでは臓器提供法という法律があります。ドナーから提供された臓器の5%は外国人に提供してもよいという法律で、それに望みを抱いて日本の患者はアメリカに行く訳です。しかし、そこには超えなければならないハードルがあります。それは費用です。保険のきかない心臓移植手術は膨大な費用を払わなければなりません。うちの孫の場合は、渡航費用5,500万円(人工補助心臓完備のチャーター機)、デポジット(病院に払う費用の前渡金)2億2千万円、滞在費等合計で3億1千万円でした。



この金額は個人ではどうしようもありません。幸いにも息子の友人達が「ひろくんを救う会」を立ち上げてくださって、2016年12月に募金活動がスタートしました。

私もかわいい孫のためにと、初日から街頭募金に参加しました。私はこれまでも赤い羽根募金とか災害の募金活動に参加した経験がありますが、今回は孫の心臓移植のための募金です。

お客様卓話「心臓移植について（ひろは小学校4年生になりました）」

それも3億円を超える募金活動です。皆さんも募金活動を経験したことがあるかも知れません。私も募金するときには100円とか500円玉、思い切っても千円くらいかな、という感じなんです。ですから2時間ぐらい呼び掛けてもせいぜい数万円でしょう。例えば5万円とすれば、6,000回以上しないと3億円には到達しない計算です。毎日活動しても16年かかる。孫の命はそんなに待ってはくれない。そんな計算をすると弱冠弱腰になり道行く人に声をかけるのも力が入りませんでした。

そんな私の前にひとりの若いお母さんが4、5歳くらいの男の子の手を引いて、財布をとりだし、千円札を入れようとして小声で話すのです。「この子は小児ガンで今治療中です。顎のあたりを指しながらここに放射線治療をしていて治ったとしても顔がゆがんでしまうのです。」さらに「夫の暴力でまもなく離婚するんです。」と涙を浮かべながらも募金箱にお金を入れてくださいました。こんなご本人としては大変厳しい状況の中でも他人の子どものために貴重なお金を入れてくださる。その方の一連の行動に、私は、頭をハンマーで殴られたような衝撃を受けました。同時にこの小さなお子さんを抱きしめてやりたい衝動にかられました。大事なわが子がこんな状況なのに、夫婦関係が破局寸前の中で。それなのに全く知らない赤の他人の孫のために募金をしてくださる、その崇高な愛の行動を目の当たりにして、私はその時、自分の孫のために死ぬ気で頑張ろう、と決心しました。まさにそれは神様が与えてくれた出会いでした。

それ以後は、誰よりも大きな声で、たとえ声がつぶれてもいい覚悟で腹の底から2時間から3時間ぶっ通しで呼び掛けることができました。一緒に手伝ってくださった方が、「稲本さんはよく声が通りますね」と誉めてくださいました。一度も声が枯れることはありませんでした。オヤジバンドでボーカル担当していたのが役に立ったのかも知れません。

年が明けて、1月は元旦の朝から亀有駅前まで寒風吹きすさぶ中の募金活動です。1年位前に心臓移植をした「いちくん」のおじいちゃんとお父さん、お母さん、それに地元のボラン

ティアの方が申し出て手伝ってくださいました。本当にありがたかったです。そんな活動が前の年のクリスマスから翌年の5月初めまで、休日と土・日は必ず。ある時は水戸駅、ある時は柏駅、おおたかの森駅、有楽町駅前、上野動物園前、イオンショッピングセンター、土浦卸売り市場の朝市等々、その時々には10数名の方が手伝ってくださいました。

つくばの西武の近くで夕方募金活動をしていましたら、お母さんといっしょに来た小学生のお子さんがおおきな豚の貯金箱ごとくださいました。4万円も入っていました。また、私の前に来られた腰のやや曲がったおばあちゃんが、「ごねんね、今日はあまりなくって」、といいながら財布をひっくり返し1万円札の混じったお金をいれてくださり、また来るからね、と去っていかれました。私は、そんな崇高な姿に何度涙したかわかりません。

有楽町駅前での募金活動のことをお話します。有楽町駅前ではものすごい人が行き交いますが、その割に反応が悪く、ちょっと落胆していたとき、ひとりの紳士がプラカードを掲げていた息子に近づき、「これ、あなたの息子さん？」と聞かれ、そうですと答えたら、「これ、使ってください」と紙袋をくださりそのまま立ち去って行かれました。家に戻って包み紙を空けたら、なんと100万円の札束が入っていました。

私はロータリークラブをはじめ印刷業界の団体やYMCAなど全国組織の団体のメンバーでしたので、毎日毎晩支援要請の手紙を書き続けました。ロータリークラブだけでも2,000クラブ以上あります。ネットで住所を調べて書きまくりました。ボランティアの方々にも手伝っていただきました。そしてたくさんの方から応援のメッセージとともに募金をいただきました。

ある時、救う会のメンバーに福井県出身の方がいて、福井の駅前で募金活動をする事になり、私のクラブの片岡パストガバナーが福井ロータリークラブにいらっしゃる同期のガバナーに連絡してくださり、福井ロータリークラブとローターアクトクラブのメンバーが募金活動に加わってくださいました。

お客様卓話「心臓移植について（ひろは小学校4年生になりました）」

その模様がテレビで放映され、翌日の募金活動では、電車に乗ってわざわざ募金して下さる方がたくさんおられて、おかげさまで予想をはるかに上回る募金を頂戴しました。

パシフィコ横浜で毎年行われているゴルフフェアでは中島常幸プロがトークショーの時間をぬって募金活動を手伝っていただきました。中島プロと記念写真を撮って募金箱に千円以上入れてね！と声かけしていただくと効果てきめん、あっという間に数十万円いただきました。募金活動の輪は横浜、甲府、名古屋、神戸へと広がっていきました。

ある時、大分県の刑務所から1通の現金書留が救う会の事務所に送られてきました。中を開けてみると1万円札と短かい手紙が入っていました。そこには、受刑者からの募金はご迷惑でしょうから、事務所の費用にでも使ってください。と書いてありました。これにも涙しました。このような当初想像もしていなかったことが次々起こりましたが時間の関係で省略させていただきます。

募金活動を始める前に大学の講堂をお借りして説明会を開催した際、NPO法人トリオジャパンという募金活動のノウハウを教えてくださいとスタッフの方が、過去の事例を紹介してください。日本の皆さんの善意を信じてください。必ず目標を達成します。との言葉をその時は半信半疑で聞いていましたが、果たして、たった4カ月半で目標の90%、2億8千万まで達しました。仰るとおり、善意に満ちた人々がたくさんいらっしゃることを実感いたしました。

ここまで来ると、渡航準備にかからなければなりません。まずは人工補助心臓が設置されているチャーター機の手配から始めましたが、整備の関係で少し遅れるとのことでした。

いつ頃飛行機が来るのかやきもきしていた5月10日、孫が入院していた東大病院から電話がかかってきました。「ドナーが現れました。明日10時に移植手術をします。」とのこと。その時私は頭がくらくら、胸はドキドキ。あの時の興奮は一生忘れることはないでしょう。

翌朝息子と自宅を出発、病院の待合室で待つこと4時間。心臓はドナーから摘出して4時間以内に移植しなければならないそうで、東大病院の先生が広島病院で摘出し、チャーター機、ヘリコプターを乗り継いで、10時ちょっと前に病院の上空でヘリコプターの羽音が聞こえ、10時きっかりに移植手術が始まり無事終了しました。執刀医の先生が私たちの部屋に来てくださり「何の問題もありません。摘出した心臓が癒着していましたが、綺麗に処置しました」とのこと。息子と嫁さんのご両親と共に喜び合いました。

勇気をもってわが子の心臓を提供して下さった、ドナーのご両親のことを思うと手放しで喜ぶことは複雑な気持ちにもなりますが、ドナーのお子さんの心臓が孫の中で生き続けるということは、ご両親にとっても慰めになるのではと考え、いただいた新しい命を大切に育むことが、恩返しになることではないかと思っています。

日本では、ドナーのご家族との連絡は一切禁じられておりますが、アメリカではオープンで、ドナーの家族が移植を受けた本人の結婚式に参加するというケースがあるようです。

いただいた2億8千万円の募金は、同じ時期に各地で募金活動をしていた5つの団体に分配させていただきました。県内では笠間市のさおりさんという方の救う会に分配させていただきました。

幸いなことに5人の方が、程なく目標を達成し、全員アメリカに渡って移植を終え全員元気に帰国なさいました。私の孫のためと思って募金して下さった皆様の善意が、私の孫と5人の方の命を救う大きな力になったということは、本当に予想もしない結末でした。

日本の国民皆保険制度は、保険料を払っているときは高いな、と思っていましたが、今回の孫のことで、アメリカの3億円に比べれば殆ど無料に近い、本当にありがたい制度だと思いました。広島からジェット機、そしてヘリコプターで心臓を運ぶ費用500万円もなんと全額社会保険が適用されました。

お客様卓話「心臓移植について（ひろは小学校4年生になりました）」



また、移植後は、月1回は必ず検診を受け、毎日免疫抑制剤を服用しなければなりません。心臓に限らず他人からいただいた臓器は何年経っても同じDNAにはならない。体は常に

異物としてその臓器を攻撃するらしいのです。その攻撃から臓器を守るのが免疫抑制剤なのだそうです。この薬は一生飲み続ける必要があります。孫が移植を受けて1年ぐらい経ったとき、ある会でこのようなお話しする機会がございまして、その時メインの講師の先生が免疫抑制剤の話をしてくださいました。当初の免疫抑制剤は移植後の生存率が低かったようですが、近年なんと筑波山の山麓の土から発見された物質により作られた免疫抑制剤が今や世界の8割の患者が使っているとのことでした。

孫は毎月1回東京の病院で検査を受けていますが、いつもパーフェクトといわれています。本当にありがたいことです。

最後に、日本の臓器移植の現状をお話しし

ます。人口100万人あたりの臓器提供者数ですが、アメリカは41.6人、ドイツが10.34人、韓国が7.88人、日本はなんと0.62人だそうです。日本の人口1億2千万人で計算するとたった100前後です。

心臓移植に限ると80件弱だそうです。国内での移植を待っている人が約900人近くいます。国内での移植のみを待っている方の多くは残念ながら命を落としているのが現状です。

日本での臓器提供者を増やすには、臓器提供意思表示カード、運転免許証、マイナンバーカードなどで臓器提供の意思表示をすること。それを家族に伝えておくことが私たちにできること。臓器移植をできる病院が限られているので、それを増やすこと。少なくとも日本の9倍提供者がいる韓国に近づく努力と法整備をしていかないと、アメリカに頼らざるを得ない状況が続きます。最近はや安とアメリカの物価高で5億円を超える費用がかかるようです。

かけがえのない命。正月早々能登で起きた地震で多くの命が失われましたが、臓器移植にしても震災にしても決して他人事ではない。今、こうして生かされていることに感謝して歩みたいと思います。

ありがとうございました。



今後の予定

2023-24 年度 ゴードンR.マッキナリー 国際ロータリー(RI)会長 テーマ「世界に希望を生み出そう」
 2023-24 年度 古河東 RC 武澤郁夫会長 クラブスローガン「一期一会の出会いを大切に」

日程	会場	内容
第 2158 回 4/23(火)	古河商工会議所 3 F	会員卓話 松本幸子地区・国際奉仕委員 お弁当：ホテル山水
第 2159 回 4/30(火)	—	GW 家族サービス休会
第 2160 回 5/7(火)	古河商工会議所 3 F	故 小山幸子会員 追悼例会 ご遺族様 小山久雄様、米村桃様 追悼のことば 武澤郁夫会長、板橋孝司会員 お弁当：ホテル山水
第 2161 回 5/14(火)	古河商工会議所 3 F	第 11 回理事会 例会場 午前 11:00～ 月初めのお祝い 5 月生まれの方 会員卓話「7 年越しの想い実現」増田恵美会員(旅行会社 Musubi 代表) お弁当：お食事処 静
第 2162 回 5/21(火)	市立リバーフ ィールド古河 マレットゴル フ場	移動例会：マレットゴルフ 集合場所：市立リバーフィールド古河 マレットゴルフ場 (古河市新久田) 集合時間：午前 9:15 スタート 午前 9:30 雨 天 時：幸寿司にて例会 正午 12:00～
第 2163 回 5/28(火)	古河商工会議所 3 F	会員卓話 モンゴル訪問について「モンゴル・学用品、スポーツ用品贈呈式」 須田純一国際奉仕委員長、武澤郁夫会長、坂田信夫会員 酒井慎介会員、佐谷道浩会員、松本幸子会員、森敏夫会員 お弁当：やなぎや遊水亭

大久保博之ガバナー スローガン「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」

地区行事等

5/25(土)～5/29(水)	国際大会	シンガポール
6/23(日)	会員基盤向上セミナー	高萩市 総合福祉センター



例会欠席連絡先 (前日迄にご連絡ください)

[SAA] 古谷弘之会員 電話：090-3470-4011

[欠席連絡専用メールアドレス] kesseki.rnrk@gmail.com

週報原稿送付先

[松井実会員メールアドレス]

m5.matsui@nifty.com

創立：1982 年(昭和 57 年 7 月 6 日)URL：http://www.kogaeast.jp 週報他、例会等の詳細情報はホームページをご覧ください。

例会日時：火曜日(12:30～13:30) 例会場：古河商工会議所 3F(古河市鴻巣 1189-4 電話:0280-48-6000 FAX:0280-48-6006)

文責：古河東ロータリークラブ会報 IT 委員会 [松井・齊藤(愛)・小森谷]